

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年2月

◇第88回活動:2017年2月14日(火) 午後1時から ヌエック207室

今日の活動は、右端にある2~3本の低い杉木立を描いていく。

1. マスキングの確認

マスキングする箇所

① 杉の葉に着いている丸みの雪塊、写真を見ながら着いている白い箇所にマスキングする。
(前回に出された宿題だった)

② 左端下部に見えるヤブ、中央杉の根元部にある“つる”やヤブ、右端の杉木立根元部のヤブに何本かずつ、草やツルを線状にGペンや細い筆ペンで描いてマスキングする。

2. 右側の低い杉木立に、ドライブラシ技法で彩色していく。

右側の杉木立は脇役なので、主役の中央杉より薄めに彩色するよう心掛けること。

① 杉の葉の色をつくる。

a) 暗めの緑色:暗青色+黄色の混色(緑色)に、焦げ茶色を少し混ぜる。

b) 暗めの青色:a色に暗青色を少し加えて青みをつける。

② 杉の端は4号小筆先端で擦りながら、かすれ気味に描いていく。

③ 内側は4号か6号小筆にa色を取り、少しティッシュに付けてからドライブラシ技法で擦りながら色を付けていく。

成るべくすき間をつくるように・・・

3. 塗った色をドライヤーで充分に乾かしてから、杉枝の向きや流れ、明るめに見える部分にダブルマスキングを施していく。細い筆ペンで葉っぱを描くようにハの字に向きをバラツかせてマスキングする。

4. マスキングしたインクをドライヤーで乾かしてから、右側の杉木立を彩色していく。

① 杉の葉の濃い色をつくる。

暗青色+焦げ茶色を混色した濃い目の暗い影色をつくる。

② 丸みのある大き目の雪塊の下部や、杉枝の奥目に見える影部分に濃い暗青色を4号小筆でおくように塗っていく。

③ 杉木立の下部や木立が重なって見える部分に、2項①のb色を6号小筆に取り、ドライブラシ技法で塗っていく。

④ 根元に見える杉の幹を、暗青色に焦げ茶色を少し混ぜて暗い茶色をつくり、4号小筆で幹を描いていく。

5. 中央の杉の根元、右側木立の根元、左側下部のヤブなど

① 薄めにした2項①のb色を4号か6号小筆に取り、ドライブラシ技法で色をおき、写真を見ながら水筆で整えていく。

② 中央杉根元の左側に見える枯れたススキ(?)ヤブを、赤茶色を2項①のa色に少し混ぜた色を、ドライブラシ技法でおいていき、水筆で整えておく。

少し乾いてから、赤茶色を混ぜた色で写真を見ながら、生えている枯れたススキ(?)を何本か描いていく。

③ 中央杉の葉っぱ下部から根元に垂れているツルの上部まで、2項①のb色を葉っぱ風にドライブラシ技法でおいていき、水筆で散らしていく。根元ヤブの草を少し4号小筆で描いておく。

④ 少し濃い目の暗青色を4号小筆に取り、左下部のヤブ中に何本か草を描いていく。

⑤ 右側木立の根元部、b色をドライブラシ技法でヤブのように擦りながら色をおいていく。

6. 全体をドライヤーで乾かしてから、マスキングインクをきれいに剥がし取る。

※今日の活動はここまでで終了した。

7. 次回(2月27日(月))の活動予定

次回も課題写真『冬の杉木立』習作の続きだ。

◇第89回活動:2017年2月27日(月) 午後1時から ヌエック207室

課題写真『冬の杉木立』の習作授業は1月23日の87回活動から始まった。

1月23日では最初に空を彩色し、次に写真中央部の高い杉の木を習作した。

2回目の2月14日では、写真右側の数本の杉木立と、左側手前のヤブや杉の木の下部周りのヤブなどを描いてきた。今日は描いてきた主役の高い杉の木や、右側の木立の背景にある杉群を描いていく。

1. 背景の杉群に、木の枝葉並びに添う様に点々とマスキングする(しつこく、或いは大きくならないように留意する)
 2. 背景の杉群を描いていく。
 - ① 杉の葉色をつくる。(薄めに色をつくること)
 - a) 暗めの緑色:暗青色+黄色の混色(緑色)に、焦げ茶色を少し混ぜる。
 - b) 暗めの青色:a色に暗青色を少し加えて青みをつける。
 - ② 薄めの暗緑色(a色)を面相筆に取り、筆先で杉の針状の葉っぱを、課題写真を見ながらツツツと描いていく。
 - ③ 杉の中間部は、薄めの暗緑色でドライブラシ技法で擦ってすき間をつくりながら彩色していく。
 - ④ 課題写真を見ながら、暗めの部分に薄めの暗青色(b色)を4号小筆に取って、ドライブラシ技法で擦りながら色をつけていく。
 3. 杉群根元部の暗部に色をつけていく。
 - ① 杉の葉の濃い色をつくる。

暗青色+焦げ茶色を混色した濃い目の暗い影色をつくる。
先に描いた中央の杉の木や右側の杉木立の暗青色より水を加えて薄めにつくっておく。
 - ② 課題写真を見ながら黒っぽく見える部分に、濃い暗青色を4号筆先でおくように色をつけていく。
 - ③ ドライヤーで良く乾かしてから、杉群根元部の暗め部分に同じ暗青色をドライブラシ技法で塗っておく。
 4. 雪斜面の影部分に、空に塗った色で影をつけていく。
 - ① 空に塗った色をつくる。

淡い青色+深い青色を混色して、空色をつくる。
 - ② 小筆に空色を取り、課題写真を見ながら影部分にサーッと塗っていき、水筆で周囲にぼかしていく。
 5. 雪斜面の所々に見えるヤブの窪みに、2項①でつくった暗青色でぼかすように塗っておく。
 6. ヤブ中に生えている草やヤブを、2項①のb色や、少しバンダイキブラウンを混ぜた茶系の暗青色を、面相筆などで課題写真を見ながら描いていく。
- ※今日の活動はここまでで終了した。各自自宅仕上げをし、次回活動時に水張り板から剥がして持ってくる。
7. 次回(3月13日(月))の活動予定

次回から、新しい課題写真『雪のひかり』を描いていきます。
準備してくること。

 - ① 配布されたB4判2枚の課題写真、貼り合せ印で2枚を貼り合せ、プラボードに四隅をテープで止めて
 - ② 手本台とし、16等分の縦横線を白線で引いておく。

雪原写真のほうを上になるように貼り合わせること。
 - ③ F8のウォーターフォード水彩紙を水張りし、課題写真をデッサンする。

下部の雪原部分は、鉛筆線を濃く残さないように注意すること。出来れば、凹んでいる部分は記しを付ける程度に留める。余りはっきりと描かないようにしないと、白い雪は彩色しないので、鉛筆線が消せなくなる恐れがある。
- ③ 用意する用具
 - ・スポンジ楊枝 メラミンスポンジを幅5ミリ位/厚さ1ミリ以下のテープ状にカットし、20ミリ位の長さを楊枝先端に巻き付けてテープで止める。 10本ほど作ってくる。
 - ・取っ手のついた青い網
 - ・マスキング筆 使い古した0~4号位の小筆、マスキングインクをつけて乾かし、筆先をカットして尖らせてGペンのようにする。